

オーストラリアレポート

豪州準備銀行は金融政策を現状維持

- 豪州準備銀行（RBA）は4月6日の理事会で、政策金利と豪3年国債利回りの誘導目標を0.1%に据え置き。
- RBAは長期にわたって低金利政策を維持する方針を示す。豪州国債購入による量的緩和策も継続。
- RBAは足元の景気は予想以上に力強いものの、インフレ目標達成には時間がかかるとの見通しを示す。
- 主要都市では住宅価格がコロナ前の高値水準を上回る。RBAは住宅市場の動向を注視する姿勢を示す。

RBAは低金利政策を長期にわたり維持する方針

豪州準備銀行（RBA）は4月6日の定例理事会で、市場の予想通り、政策金利と豪州3年国債利回りの誘導目標を0.1%で据え置きました（図表1）。

RBAは声明文で、先行きの金融政策に関して「インフレ率が持続的にインフレ目標内（2～3%）で推移するまで政策金利の引き上げは行わない」、「2024年までに利上げの条件（賃金上昇や労働市場の引き締め）が満たされるとは予想していない」とし、低金利政策を長期にわたって維持する方針を示しました。

来週より第二弾となる国債購入プログラム（1,000億豪ドル規模）が開始される予定であり、その後も、必要に応じて追加の国債購入を実施する用意があるとRBAは表明しています。

豪州の景気回復は予想以上に力強い

RBAは声明文で「足元の豪州景気は順調に回復しており、予想以上に力強いものとなっている」としています。

2021年2月の失業率は5.8%（市場予想：6.3%）まで低下しており、雇用環境の改善を示す結果となりました。しかし、賃金上昇を伴ってインフレ圧力が高まるには、失業率の一段の低下が必要とみられており、RBAは予想以上に景気回復が進んでいるものの、インフレ目標の達成には時間がかかるとの見通しを示しています。

RBAは住宅市場の動向を注視する姿勢を示す

今回の声明文では、豪州主要都市における住宅価格の上昇についても言及がありました。シドニーやメルボルンなど主要都市の住宅価格は足元でコロナ前の高値水準を大きく上回っており、RBAは住宅市場の動向を注視する姿勢を示しました（図表2）。

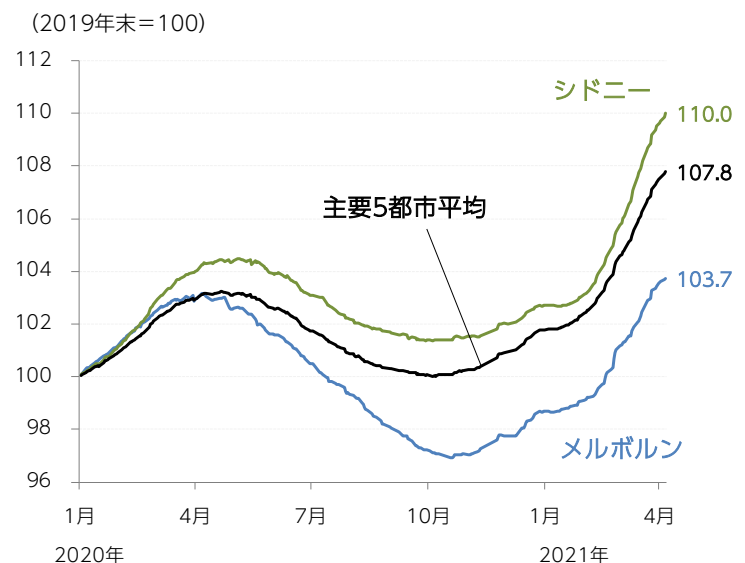
図表1：豪州準備銀行(RBA)の政策金利と国債利回り



(出所) RBA、ブルームバーグ

(期間) 2020年1月1日～2021年4月6日（日次）

図表2：豪州主要都市の住宅価格の推移



(出所) コアロジック、ブルームバーグ

(期間) 2020年1月2日～2021年4月6日（日次）

(注) 主要5都市はシドニー、メルボルン、ブリスベン、アデレード、パース

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、フランクリン・テンプレトン・ジャパンの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>